

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2014 BASEBALL

2014  
★ ★ ★  
**TEIKYO UNIVERSITY**  
BASEBALL

★  
SPORTS OFFICIAL YEAR BOOK



.....  
**BASEBALL**  
.....  
帝京大学 硬式野球部  
**TEIKYO UNIVERSITY**  
**SPORTS OFFICIAL YEARBOOK**  
2014



# 帝京大学硬式野球部イヤーブック発刊に寄せて

帝京大学 八王子キャンパス  
学生サポートセンター・グループリーダー  
強化クラブ室 副室長  
山崎 正

帝京大学 八王子キャンパス事務長  
強化クラブ室 室長  
古張 隆

学校法人帝京大学 法人事務局長  
帝京大学硬式野球部 OB会相談役  
前田 憲正

学校法人帝京大学 理事長  
帝京大学 学長  
沖永 佳史

日本のプロ野球界発展に大きな功績を残した元巨人軍オーナーの故正力松太郎氏の遺訓「巨人軍は常に紳士たれ、巨人軍は常に強くあれ、巨人軍はアメリカ野球に追いつき、追い越せ」があります。私の最良チームは別として、これを本学硬式野球部に置き換えて、この含蓄ある言葉を噛みしめ、理解してほしい。

ところで、首都大学野球連盟の一部リーグ所属校が今春から2校増えた8校に変更となり、対戦校と2試合ずつの試合が組まれ、勝率で順位が決定します。新しいルールの中で正々堂々と戦い、頂点を勝ち取った喜びの声を待っている。

いかに試合巧者になるべきか、チームの総合力をいかに発揮するかが重要。本学チームには何人かの選手がプロ野球を志望している。プロで通用する実力と輝きを掴んでほしい。何よりも学業優先、野球を通じて多くの事を学び、人間として成長を遂げてください。

この春は2月の中旬より約10日間にわたり、全部員を帯同しての静岡合宿を実施し、来たる『首都大学春季リーグ』に備えてまいりました。

ここ数年、『全日本大学選手権』および『明治神宮大会』への出場をあと一歩で逃してきましたが、今季は、その貴重な経験を力に変えて、存分に戦い抜いてほしいと思います。

チャレンジの春、そして集大成を迎える秋のリーグに向けて、さらにチーム一丸となり、今、この瞬間も強化に励む本学硬式野球部。

基本に忠実で見守る者に高揚感を味わわせてくれる彼らは、今後もその学生らしさを忘れずに、力の限り全国の舞台上で躍動してくれることでしょう。

さらなる健闘を祈念し、イヤーブック発刊の挨拶とさせていただきます。

球春到来を告げる4月。本学硬式野球部は満を持して『首都大学春季リーグ』に臨みます。今年度のチームは例年以上に基礎練習にこだわってトレーニングを積み重ねてきており、その成果が本番でいかに発揮されることでしょう。

唐澤良一監督を中心に、ここまで「学生野球として模範となる組織づくり」、「社会に出て活躍できる人間づくり」、そして本分である「学業への取り組み」を最優先に、日々取り組んできたチームは、今年度成熟の時を迎えようとしています。

いよいよ決戦の時が来ました。ソチオリンピックの次は、本学硬式野球部が皆様に感動を届けてくれるはず。温かく、そして厳しい眼差しで帝京大学硬式野球部への御支援を賜りますよう、宜しくお願い致します。

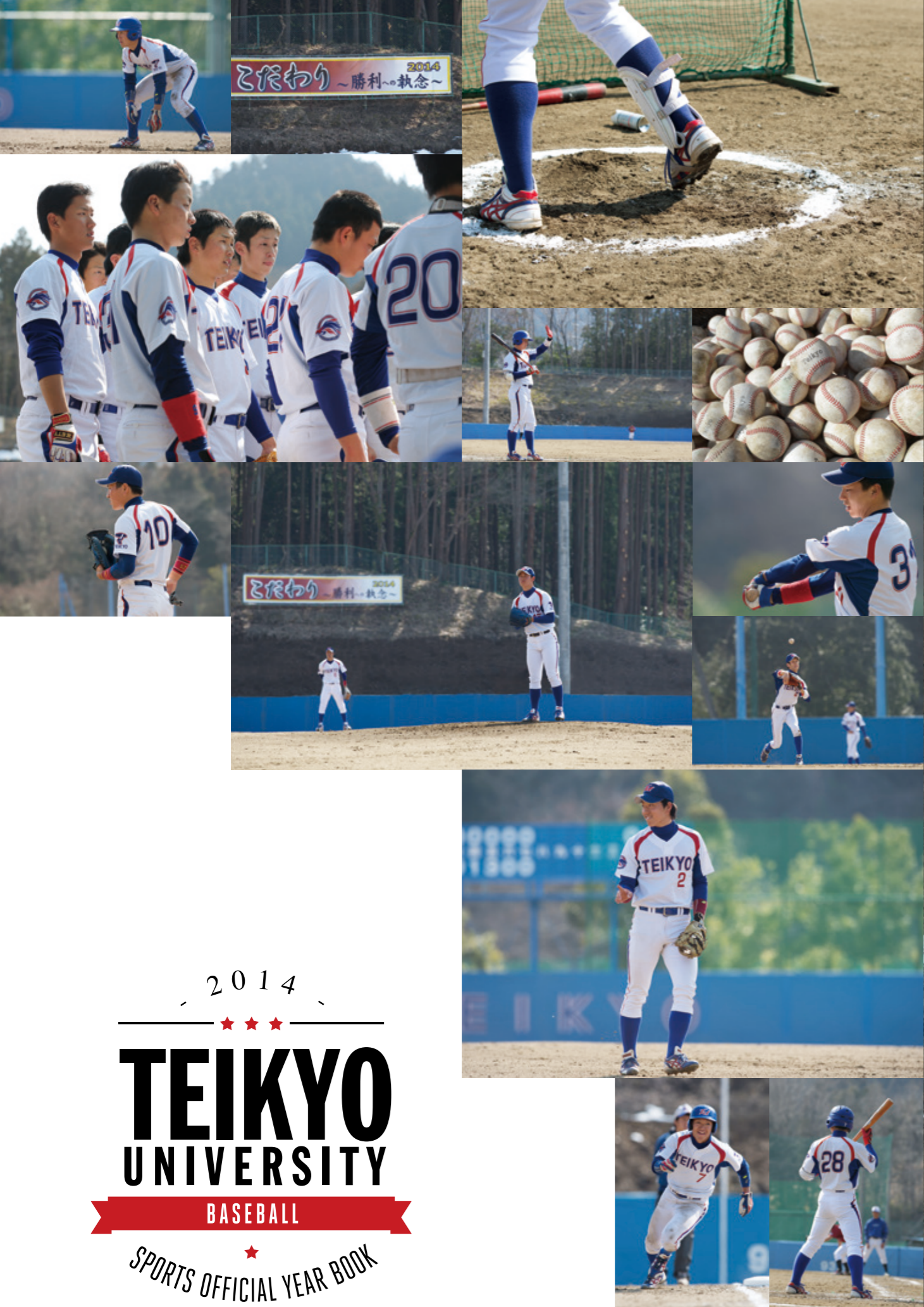
今シーズンより『首都大学リーグ』の大会方式が一部変更となりました。

まずリーグ編成ですが、本学が入る1部リーグは6から8チーム編成で組まれることとなりました。そして試合方式は、全チーム2回戦総当たりとして勝率により順位を決定することになります。

捉え方はそれぞれかと思いますが、より「チームとしての総合力」と「こ一番での勝負強さ」が問われるシーズンとなりそうです。

昨シーズン、フル回転した西村天裕選手、青柳見洋選手の両3年生を中心とした投手陣のさらなる奮闘は不可欠といえるでしょう。

そして、本学硬式野球部の最大の魅力である部員一人ひとりの野球に懸ける情熱を、今シーズンもぜひ球場で感じ取っていただければ幸いです。



こだわり ~勝利への執念~

2014  
 ★★  
**TEIKYO**  
**UNIVERSITY**  
 BASEBALL  
 ★  
 SPORTS OFFICIAL YEAR BOOK

からさわ りょういち

1969年生まれ。大阪府出身。帝京大学硬式野球部OBで1999年から12年間コーチとして同部を指導。2011年より監督に就任して2年目の2012年には秋に首都大学野球リーグ1部で2位の好成績を残し、明治神宮大会の出場権を懸ける「関東地区大学野球選手権大会」(横浜市長杯)に出場するなど躍進を遂げている。

# き 唐澤良一

監督



就任4年目。初めて「結果」にこだわる、と口にした唐澤監督。成熟した帝京大学硬式野球部が躍進の年をひた走る。

# と の 意 決



## 帝京大学硬式野球部チーム理念

### 素直さ、謙虚さ、朗らかさ

私たちは野球のみならず、すべての面で、素直で、謙虚で、朗らかな学生になるよう心がけています。

### 報告・連絡・相談

私たちは合宿所などの集団生活において、報告・連絡・相談を徹底し、故障、発病などの体調の変化、学内、部活内、家庭内の生活における心境の変化に迅速に対応するよう努めています。

### 挨拶・返事・反応

私たちは「相手に対する思いやり」を第一に考えます。相手とのコミュニケーションで一番大切な挨拶、返事、そしてそれに伴う俊敏な反応、これらを大学生活の4年間で身につけます。

### 敬意・決意

私たちは「相手に対する敬意」と「自分に対する決意」をもってゲーム(試合)に臨みます。自分たちだけの目標にばかり目を向けるのではなく、首都大学リーグ全体の発展を願うグラウンドに立ちます。

## こだわり、勝利への執念

「今年のチームスローガンは「こだわり、勝利への執念」になっていきますが、まずはそこについて聞かせてください。」

「今年で私が監督に就任して4年目になるんですが、これまでは一度も「結果を出す」とか「優勝する」とか言ったことがなかったんです。ただひとつ「いいチームを作る」とだけ言ってきました。それは勝ち負けの前に、一人の社会人として良い人材、良い集団を作っていくべき、自然と勝てるチームになっていくべき、私が信じているからなんです。それが今年に就任して初めて学生に向かって「結果を出すぞ」「優勝するぞ」と言ったんです。監督で4年、コーチとして12年間これまでチームでやってきて、正しいことを言っているつもりでも、やはり結果を残していないと発言権もだんだん弱くなってくるんですね。そこで今年私が目指すチーム像にだいぶ近づいてまいりましたし、選手たちも優勝を狙えるレベルにようやくよくなってきたのかなと感じまして、今回「優勝」の二文字を初めて口にしました。」

# 決意の結果にこだわり、進化する



生コーチだった渡邊さんを卒業後コーチとしてチームに残っていますが、

「渡邊を学生コーチではなく、コーチとして就任させたのは人間性を買ったからです。自分が監督をしてから丸々2年間、学生コーチとして彼は頑張ってくれましたし、彼は元々指導者を目指していた経緯もありましたので、今回お願いしました。新しい風を入れるのも

一案だったかもしれませんが、私がこのチームを見てきて、今ある形を大事にしたいと思っただけです。彼がコーチになることで、上級生の中には一緒にやってきた学生がそのままコーチとして残るわけですからやりづらさもあるかもしれません。けれどいろいろなことを相談しやすい兄弟的な存在としてやってもらえれば、うまく回るんじゃないかと思えますし、期待もしています。」

「今年が首都大学リーグのルールが変わり、8チーム全2回戦制になりました。何か戦術面で考えていることはありますか?」  
「考えようによっては1勝1敗で行けば勝率は5割です。2部に落ちたくなければそのやり方でやっていけば確実に1部には残れるでしょう。けれど今年は就任して初めて学生に「結果を出すぞ」「優勝するぞ」と言いましたし、なぜそれを口にしたら?と言ったらそこは私の「こだわり」ですね。来年で首都大学リーグは50周年を迎えますが、今回でルールが変わるといことはそれまでの49年の歴史を否定することもあると思うんです。たとえば今年の学生が最多安打記録を塗り替えたとしても、けれどもその記録は参考記録として処理されてしまい、正式な記録更新にならない可能性があるわけです。それでは今年プレイする学生がかわいそうです。その逆で過去の選手の立場からみれば試合数や条件などみんな違うわけですから報われません。そんなことを言っても私の今の立場では発言力も微々たるものから、発言をしたかったら結果を出すしかない。出し続けるしかない。だから今年の学生には勝ちにこだわるぞと言いました。」

## 普段の生活から身を正す

「たとえば50m走を二人で走らせたとしても、片方の子は一生懸命に走って7・3秒なのに、対して、もう片方の子は力を抜いても6・3秒でした。けれど私は力を抜いて早く走るよりも、全力で走って遅れをとったことの方が大事だと考えています。これも一緒に走った相手に対する敬意だとか常日頃の気持ちの問題です。電話の受け方にしてもそうです。相手によって態度を変えるのではなく、どこ誰が相手でも気持ち良く電話を受けられるようにする。これが大事だと思うのです。社会に出たらやり直しが利かないことが多いわけです。だからこそ普段の生活から身を正す。私が「挨拶・返事・反応」「報告・連絡・相談」「素直さ、謙虚さ、朗らかさ」を大切にしているのはそういう部分でもあるんです。」

「今年のチームは昨年も試合で活躍した選手が多く残っています。監督として手応えはいかがですか?」  
「過去4年間で走攻守のすべてが揃っているチームだと思っています。今までだとうちは打力が弱いと言われてきたんですけど、自分の中ではそう思っていないで、ただ結果が出ていなかった。それについては言い訳もしないんですけど、今年入ってきた一年生も含めて打力が強い選手が今年は揃っている。自分の中では楽しみな部分が強いです。例年以上に相手と戦う前にチーム内で戦えと学生には言っています。今年は各ポジションに右利きの選手と左利きの選手をあてることもできそうですし、レギュラーと控えの力差がないようなチーム力になっていけていると思います。それも高いレベルで。ですから今年は、思い切った選手交代が可能になると考えています。」

二人の先輩との出会いが  
彼を大きく変える

interview

—— 帝京大学を選んだきっかけは？

「高校の野球が終わったときにやっぱり野球を続けたいと思って、そのときにコーチの方から帝京大学はどうだって薦められました」

—— 帝京大学硬式野球部の第一印象は？

「自由が多いというか野球を楽しくやっているなと感じました。プレイ面で選手間での合い合ったりはするんですが伸び伸び野球ができていて第一印象で感じました」

—— 初めて3つ年上の先輩とプレイすることになったのはなぜですか？

「それはなかったです。入学してすぐに試合に出てやろうと思っていました」

—— だけど大学野球の壁に当たった？

「はい。大学になると社会人チームと練習試合をやる機会が増えるんですけど、そこでプレイする方々のレベルが自分の想像よりも高くて、この人たちでもプロに行けないのかと思ったらプロに行きたいって言っていた自分自身が恥ずかしくもなりました」

—— そこから自分のどんな部分を変えていったのですか？

「特に送球の部分ですね。肩には自信があったんですけど、それだけでは盗塁を刺せないと分かって、肩の強さよりも送球の正確性とか、教えてもらったことをすべて吸収しようと思って練習をしました。あとは声かけを自分なりに工夫したりしました」

—— 二年生のときは、その後社会人に進み今秋のドラフト候補にもなっている加美山晃士朗選手（NTT東日本）と石川健選手（西濃運輸）の二人の先輩とバッテリーを組むことが多かったのですが。

「左と右に違ったタイプのピッチャーがいたんですけど、加美山さんは自分と同じで割と自己主張が強いタイプでサインにも首を振りまわすし、どちらかという自分の投げたい球を選ばずピッチャー、石川さんはサインを素直に受け入れてくれて、自分の配球どおり投げてくれたピッチャーでした。この年はすごくいい経験をさせてもらいました」

—— その経験を糧にして三年生になった昨年はチーム内における存在感がひとまわり大きく感じました。

「もっと前になきゃとは自分でも強く思いました。試合に出ていた四年生がごっそり抜けたのもありますし、前年に出ていたメンバーが自分も含め3人しか残っていませんでした。自分は三年生だけで今まで以上に感じていましたし、キャッチャーというポジションもそういう立場だと思います」

—— リード面では昨年主戦投手を務めた大谷日本代表候補の西村天裕選手や青柳晃洋選手が今年三年生になって、昨年以上の結果が求められます。

「二年前と明らかに違うのは自分が引く張ってもらう立場から引く張る立場に変わったことです。昨年は西村も青柳も、二年生だったので上級生の自分に頼る面があったと思うんですけど、配球面で自分に頼りっぱなしになるのはできる限り避けたいし、そこは本当に難しいところなんですけど、時にはマウンドから自分の勘を信じて首を振る場面が今年もあってもいいのかなって思っています。これは自分の経験上ですがピッチャーが首を振って投げる球は良い球が来るんですよ。球に気持ち乗っている証拠だと思います」



# 勲章へのこだわり

—— 今年は主将としての責任もついできますね。

「以前は自分が主将をやらぬ方がうまく回ると考えていた部分もありました。自己主張が強い分、一人で突っ走ってしまう可能性もあるので副主将やゲームキャプテンという形で引張って行く方が自分には合っていると思っていたんですけど、監督からいろいろ話を聞かされて今では自分が主将で引張っていいこうと思っています」

—— 最後に今季はどんな1年にしたいですか？

「今年はとにかく結果にこだわりたいです。そこに向けて四年生がみんな協力的ですごく助かっていますし、昨秋3位で終わったのも日本体育大学に1敗したことが響いて関東大会に出られなかったのが、日々の練習でも考えて細かい面もどんどん追及して結果を出す1年にしたいと思っています」

RYO KINAMI

# 木南了

帝京大学硬式野球部 主将





勝

利

人

の

執

念

## 選手層の厚さでリーグ優勝を狙う



「今年は結果にこだわります。目標はもちろん首都リーグの優勝です」。帝京大学硬式野球部・唐澤良一監督が自信たっぷりに話すように今年のチームは選手層の厚さを感じさせる。

投手では昨年主戦を務めた青柳晃洋(三年)と西村天裕(三年)の二枚看板が今年も健在で、青柳は昨年春の東海大学戦で完投勝利を収めて自信を深めると、西村も昨夏に大学日本代表候補に招集されるなど成長の跡を感じさせる。

さらに四年生右腕の亀島稜汰、サイドスロー転向で新境地を拓いた吉田直矢(四年)に、速球が自慢の二年生板野拓耶、完投能力もある右の本格派・三浦慎道(二年)、一年生にも楽しみ素材が加わっており投手陣は昨年以上の充実ぶりだ。

これら投手陣をまとめるのが主将で捕手の

木南了。正捕手としてマスクをかぶり今年で3シーズン目を迎えるが、自軍の投手だけでなく相手軍の弱点も熟知する彼の頭脳に唐澤監督も高い信頼をおいている。また故障が癒えてチームに戻ってきた三年生捕手の笹野将史の成長がここに来て目を見張るものがあり、主将といえどポジション争いは安泰じゃない。

野手では二年生の大型遊撃手の山口達也、一発長打が魅力の一塁手加藤勇斗(三年)らが内野を固め、外野も俊足の副将・宮内謙(四年)、勝負強い打撃が売りの塩見泰隆(三年)、広い守備範囲が魅力の池尻翔紀(二年)など左右にスキルの高い選手が揃っており、リーグ戦では誰が出てきてもおかしくない状況だ。

# 首都大学リーグで 帝京大学硬式野球部を応援しよう!



帝京大学 八王子キャンパス  
マスコットキャラクター  
ていーぼー

帝京大学

### 首都大学リーグとは

首都圏近郊に所在する16大学で構成される全日本大学連盟の傘下連盟。昨年までは1部6大学、2部8大学で構成されていたが、今季2014年より1部8大学、2部7大学で改組される運びとなった。公式戦は春季、秋季にそれぞれ行われており、リーグ戦終了後には1部の下位2大学と2部の上位2大学で入れ替え戦が行われている。

## 年間スケジュール

## OCTOBER « SEPTEMBER AUTUMN

[秋季リーグ] 9月上旬～

**参加チーム**  
・春季リーグ1部の1位から6位  
・入れ替え戦の勝者

**優勝、準優勝チーム**

3～6位: 1部残留  
7～8位: 入れ替え戦

横浜市長杯争奪  
第9回関東地区大学  
野球選手権大会

**優勝、準優勝チーム**

明治神宮野球大会

(11月中旬～)

[昨年度優勝チーム]  
亜細亜大学

**優勝チーム**



全日本大学選手権

(6/10から6日間 ※雨天順延)

[昨年度優勝チーム]  
上武大学

**2位～6位**

秋季リーグ  
1部残留決定

**7位～8位**

入れ替え戦

**参加チーム**  
(1部8大学)

[春季リーグ]  
4/12(開会式)～5/31(閉会式)



帝京大学  
(2013年秋季1部3位)



東京経済大学  
(2013年秋季2部1位)



城西大学  
(2013年秋季1部6位)



大東文化大学  
(2013年秋季1部5位)



桜美林大学  
(2013年秋季2部2位)



筑波大学  
(2013年秋季1部4位)



日本体育大学  
(2013年秋季1部2位)



東海大学  
(2013年秋季1部1位)

※日程表はP14に掲載

# 人として大事な部分を 学生に伝えられたら

Mini Interview

## 渡邊 諒介 コーチ

学生コーチから「学生」がとれて正式にコーチとして働くようになったのは今年の春からなんですけど、後輩にはそれまでと変わらないように接しています。ただ以前と違って学生同士ではなく、注意すべきところは増えましたし、正直なところ野球の技術についてはまだ教えられるレベルにないと思ってるので、大学の先輩・OBとして「挨拶、返事、反応」とか「報告、連絡、相談」とか人として大事な部分を学生には伝えて行けたらと考えています。

野球の面に関しては昨年春に東海大学に勝利して、選手たちも自信をつけて今季に臨んでいると思います。そういう意味で今季は期待する部分も多いです。今季はスローガンも「こだわり、勝利への執念」となっていますので、アグレッシブなチームにまとめていきたいと思っています。

### PROFILE

**わたなべ りょうすけ**  
Ryosuke Watanabe  
昨年までの3年間は学生コーチを務めていたが、今春の大学卒業を待って正式にコーチに就任。唐澤監督の右腕としてチームをサポートする。



### PROFILE

**のじり ひさお**  
Hisao Nojiri  
医学博士。薬学部で生命薬学講座細胞生物学研究室の教授を務めるかたわら、硬式野球部部長としても活動している。

一昨年の12月に竣工した硬式野球部寮は、ウエイトトレーニングルームや屋内練習場等も設置されており、各人が目標を持って規律正しい生活を送っています。部屋は二人部屋が基本ですが、プライベート空間が保障された構造になっており、選手たちは心置きなく自分の時間を過ごしています。また、大浴場は監督と選手のさつきばらんなコミュニケーションの場になっています。こうした寮生活を通して選手たちが年々人間的に成長していくのがはつきりと感じられ、頼もしく思っています。このような立派な寮を作ってくれた大学に感謝し、「同じ釜の飯を食った」、強い絆で結ばれたかけがえない友（よきライバル）と高い目標に向かって互いに切磋琢磨して自分を向上させていってほしいと思います。

## 野尻 久雄 部長

Mini Interview

# 高い目標に向かって 切磋琢磨を

## 春季リーグ日程 (帝京大学のみ)

MAY < APRIL  
SPRING  
4/13~5/25

4/13(日)	桜美林大学	(H 昭島市民 10:30)
4/14(月)	桜美林大学	(V 昭島市民 13:00)
4/19(土)	大東文化大学	(H 等々力 13:00)
4/20(日)	大東文化大学	(V 等々力 10:30)
4/26(土)	日本体育大学	(V 大田 13:00)
4/27(日)	日本体育大学	(H 大田 10:30)
5/3(土)	東京経済大学	(H 大和引地台 13:00)
5/4(日)	東京経済大学	(V 大和引地台 10:30)
5/10(土)	城西大学	(H 相模原 13:00)
5/11(日)	城西大学	(V 相模原 10:30)
5/17(土)	東海大学	(V 日体大 10:30)
5/18(日)	東海大学	(H 日体大 13:00)
5/24(土)	筑波大学	(H 平塚 13:00)
5/25(日)	筑波大学	(V 平塚 10:30)

※( )内のHはホームゲーム、Vはビジターゲーム。  
試合時間13:00予定のものは、  
当日の第一試合の終了時間で変更有り。

## アクセス

# ACCESS

### 昭島市民球場

●JR中央線「立川」駅乗り換え、青梅線「東中神」駅下車徒歩3分

### 等々力球場

●JR南武線「武蔵小杉」駅より徒歩20分、「武蔵中原」駅より徒歩15分  
●東急東横線「武蔵小杉」駅より徒歩20分、「新丸子」駅より徒歩15分  
●「武蔵小杉駅前」バスターミナル①、②から乗車「等々力グラウンド入口下車」

### 大田スタジアム

●東京モノレール「流通センター」駅より徒歩15分  
●JR「大森」駅東口から京浜急行バス「平和島循環」「京浜島循環」で「倉庫センター」下車徒歩10分

### 大和引地台野球場

●小田急江ノ島線「桜ヶ丘」駅より徒歩約15分  
●小田急江ノ島線・相鉄本線「大和」駅より徒歩約20分  
●大和駅南口より大和市コミュニティバス(のろっと)「南部ルート」で「引地台公園」下車徒歩2分

### サーティーフォー相模原球場

●JR「淵野辺」駅南口よりバス「淵野辺公園」下車  
●JR「相模原」駅南口よりバス「淵野辺公園」下車  
●小田急線「相模大野」駅北口よりバス「淵野辺公園」下車

### 日体大健志台球場

●東急田園都市線「青葉台」駅よりバス「日体大」行き

### 平塚球場

●JR「平塚」駅より徒歩20分  
●JR「平塚」駅北口よりバス4番線「平塚球場」下車

## 2013 RESULT

### 首都大学リーグ 春季結果

		日体大	東海大	筑波大	大東大	帝京大	城西大	
1位	<b>日体大</b>	—	●○○	●○○	●○○	○●○	○○	10勝4敗
2位	<b>東海大</b>	○●●	—	○○	○○	○●○	○○	9勝3敗
3位	<b>筑波大</b>	○●●	●●	—	○○	○○	●○○	7勝5敗
4位	<b>大東大</b>	○●●	●●	●●	—	●○○	○○	5勝7敗
5位	<b>帝京大</b>	●○○	●○○	●●	○●●	—	○○	5勝8敗
6位	<b>城西大</b>	●●	●●	○●●	●●	●●	—	1勝10敗

### 首都大学リーグ 秋季結果

		東海大	日体大	帝京大	筑波大	大東大	城西大	
1位	<b>東海大</b>	—	○○	○○	○○	○○	○○	10勝0敗
2位	<b>日体大</b>	●●	—	●○○	●○○	○○	○○	8勝4敗
3位	<b>帝京大</b>	●●	○●●	—	●○○	●○○	○○	7勝6敗
4位	<b>筑波大</b>	●●	○●●	○●●	—	○○	○●○	6勝7敗
5位	<b>大東大</b>	●●	●●	○●●	●●	—	○○	3勝8敗
6位	<b>城西大</b>	●●	●●	●●	○●●	●●	—	1勝10敗





どんなときも「笑顔」を忘れずに

チームの内外問わず人と接する機会が多いので常に笑顔絶やさないようにしています。自分の母校でも、「どんな劣勢でも笑顔でいれば勝てる」という教えでしたし、笑顔でいることで周りも話しかけやすかったりと思うので、そういう点でも笑顔は大切じゃないかと思っています。笑顔でいればプラスの効果しか生まない。そこが自分のこだわりです。

主務 平田翔太郎 [4年] 医療技術学部スポーツ医療学科 横浜隼人高/東京都出身

SHOTARO HIRATA



YUTA FUJITSUGU

自分は学生コーチになって2年目になりますが、チームの成績、選手の成長が自分たち学生コーチの評価に繋がると思って日々の仕事をしています。選手が辛い練習をしているときに、自分がどんな声かけをして、どうモチベーションを上げて、それを乗り越えさせるかを常に考えていますし、選手が練習相手に困っていたら例え何時間でも付き合おうと心がけています。ときに優しく、ときに憎まれ役になるくらいで今年は選手に接したいと考えています。

学生コーチ 藤次勇太 [3年] 経済学部経済学科 御殿場西高/静岡県出身

STAFF

<p>藤野直仁 [1年]</p>  <p>マネージャー</p> <p>医療技術学部 スポーツ医療学科 京都両洋高/京都府出身 172cm・74kg</p>	<p>佐藤就登 [3年]</p>  <p>副務</p> <p>医療技術学部 スポーツ医療学科 上宮太子高/大阪府出身 165cm・60kg</p>	<p>赤津耀祐 [2年]</p>  <p>学生コーチ</p> <p>医療技術学部 スポーツ医療学科 大井川高/静岡県出身 178cm・72kg</p>
--	--	--

<p>佐藤瑞紗 [3年]</p>  <p>連盟マネージャー</p> <p>外国語学部外国語学科 銚子商業高/千葉県出身 160cm</p>	<p>熊谷伊紅美 [3年]</p>  <p>連盟マネージャー</p> <p>医療技術学部 スポーツ医療学科 川崎北高/神奈川県出身 162cm</p>	<p>赤川嘉基 [3年]</p>  <p>連盟マネージャー</p> <p>医療技術学部 スポーツ医療学科 市立船橋高/千葉県出身 176cm・75kg</p>	<p>二木千帆 [4年]</p>  <p>連盟マネージャー</p> <p>文学部心理学科 明星高/東京都出身 154cm</p>	<p>石井陽平 [4年]</p>  <p>連盟マネージャー</p> <p>医療技術学部 スポーツ医療学科 日本大学第三高/ 埼玉県出身 180cm・76kg</p>
--	--	--	---	--

ときには鬼になって

副主将 宮内謙 [4年]

副主将だから何かを変えようとはせず、当たり前を当たり前にするのを日頃から心がけています。「人間の成長なくして技術的進歩なし」と言うように、日常生活の「気づき」が野球においても「気づき」に繋がると感じています。寮生活、私生活から自分を正していき、野球の技術的進歩に繋げるようにしていきたいです。また、自分は高校3年から大学3年までの期間、怪我で苦しんで選手に復帰したのも今年になってからでした。そういう意味でも野球ができない選手の気持ちは誰よりも分かっていますし、怪我で悩んでいる選手の心のケアが自分の役割のひとつではないかと考えています。

医療技術学部スポーツ医療学科 埼玉栄高/埼玉県出身

KEN MIYAUCHI

日常生活の気づきが野球においても気づきに繋がる

# 「こたわり」

帝京大学硬式野球部を陰で支える学生スタッフ。そんな彼達に日々の仕事を遂行するために欠かせない「こたわり」について語ってもらった。

## 首都大学リーグ 優勝のカギを握る 学生STAFFの

けが人を出さないよう選手から目を離さない



卒業後はトレーナーになることを目指しているので、常に選手からは目を離さないようにしています。選手に何か変化を感じたらいち早く監督に伝えるよう心がけていますし、試合前のアップ不足で肉離れを起こす選手が出ないように、ストレッチを徹底するように選手には伝えていきます。今年はけが人を一人でも少なくするのが目標です。

学生コーチ 柳澤礼雄 [4年] 医療技術学部スポーツ医療学科 銚子商業高/千葉県出身

REO YANAGISAWA





岩田 康平 [1年]



KOHEI IWATA

医療技術学部スポーツ医療学科  
県立和歌山商業高 / 和歌山県出身  
179cm・77kg / 右投左打

笹野 将史 [3年]



MASAFUMI SASANO

医療技術学部スポーツ医療学科  
市立船橋高 / 千葉県出身  
177cm・82kg / 右投左打



菊地 丈留 [1年]



TAKERY KIKUCHI

医療技術学部スポーツ医療学科  
市立船橋高 / 千葉県出身  
175cm・75kg / 左投左打

松本 匠 [2年]



TAKUMI MATSUMOTO

医療技術学部スポーツ医療学科  
帝京高 / 埼玉県出身  
178cm・84kg / 右投右打

PLAYERS LIST 2014  
2014年 帝京大学 硬式野球部  
プレイヤーズリスト



Change for  
Victories!!  
Teikyo University  
Baseball Club

京井 翔 [1年]



SHO KYOUI

医療技術学部スポーツ医療学科  
飛龍高 / 和歌山県出身  
180cm・75kg / 右投右打

皆川 健太 [3年]



KENTA MINAGAWA

医療技術学部スポーツ医療学科  
習志野高 / 千葉県出身  
185cm・85kg / 右投右打

木南 了 [4年]



RYO KINAMI

医療技術学部スポーツ医療学科  
千葉経済大学附属高 / 東京都出身  
179cm・86kg / 右投右打

塚口 大樹 [1年]



DAIRI TSUKAGUCHI

医療技術学部スポーツ医療学科  
市立船橋高 / 千葉県出身  
180cm・78kg / 右投右打

三浦 慎道 [2年]



MASAMICHI MIURA

医療技術学部スポーツ医療学科  
甲府工業高 / 山梨県出身  
175cm・75kg / 右投右打

西村 天裕 [3年]



TAKAHIRO NISHIMURA

医療技術学部スポーツ医療学科  
県立和歌山商業高 / 和歌山県出身  
176cm・92kg / 右投右打

幸浦 公平 [3年]



KOHEI KOURA

医療技術学部スポーツ医療学科  
城東高 / 徳島県出身  
176cm・72kg / 右投右打

青柳 晃洋 [3年]



KOUYOU AOYAGI

医療技術学部スポーツ医療学科  
川崎工科大 / 神奈川県出身  
181cm・77kg / 右投右打

塚平 大貴 [4年]



DAIRI TSUKAHIRA

医療技術学部スポーツ医療学科  
大和南高 / 神奈川県出身  
180cm・63kg / 右投左打



羽藤 樹生 [1年]



JUO HATOH

医療技術学部スポーツ医療学科  
玉野光南高 / 岡山県出身  
173cm・70kg / 右投右打

横山 昇吾 [3年]



SHOGO YOKOYAMA

医療技術学部スポーツ医療学科  
横浜商業高 / 神奈川県出身  
179cm・78kg / 右投左打

柴山 悟 [4年]



SATORU SHIBAYAMA

医療技術学部スポーツ医療学科  
光明学園相模原高 / 神奈川県出身  
175cm・100kg / 右投右打

本野 一哉 [1年]



KAZUYA MOTONO

医療技術学部スポーツ医療学科  
金光大阪高 / 大阪府出身  
174cm・64kg / 左投左打

三木 彰雅 [2年]



AKIMASA MIKI

医療技術学部スポーツ医療学科  
青森山田高 / 大阪府出身  
176cm・76kg / 左投左打

板野 拓耶 [2年]



TAKUYA ITANO

医療技術学部スポーツ医療学科  
武相高 / 神奈川県出身  
181cm・75kg / 右投右打

高橋 駿 [3年]



SHUN TAKAHASHI

医療技術学部スポーツ医療学科  
大迫高 / 岩手県出身  
179cm・79kg / 右投右打

大野 僚汰 [3年]



RYOTA OHNO

医療技術学部スポーツ医療学科  
南部高 / 和歌山県出身  
176cm・86kg / 右投左打

永成 凌 [4年]



RYO NAGANARI

医療技術学部スポーツ医療学科  
平塚湘風高 / 神奈川県出身  
185cm・75kg / 右投右打

亀島 稜汰 [4年]



RYOTA KAMESHIMA

経済学部経済学科  
富岡西高 / 徳島県出身  
178cm・79kg / 右投右打

高田 風舞 [2年]



FUMA TAKADA

医療技術学部スポーツ医療学科  
横浜隼人高 / 神奈川県出身  
178cm・79kg / 右投右打

望月 隼 [4年]



HAYATO MOCHIZUKI

医療技術学部スポーツ医療学科  
小平高 / 東京都出身  
181cm・83kg / 右投右打

小倉 大生 [1年]



TAISEI OGURA

医療技術学部スポーツ医療学科  
岡山学芸館高 / 岡山県出身  
181cm・78kg / 右投右打

實川 剛 [2年]



TSUYOSHI JITSUKAWA

医療技術学部スポーツ医療学科  
市立船橋高 / 千葉県出身  
175cm・72kg / 左投左打

谷林 広紀 [3年]



HIROKI TANIBAYASHI

医療技術学部スポーツ医療学科  
平塚学園高 / 神奈川県出身  
173cm・70kg / 左投左打

木原 立遥 [3年]



TATSUNORI KIHARA

医療技術学部スポーツ医療学科  
星城高 / 愛知県出身  
181cm・77kg / 右投左打

吉田 直矢 [4年]



NAOYA YOSHIDA

医療技術学部スポーツ医療学科  
日本大学藤沢高 / 神奈川県出身  
171cm・72kg / 右投右打

坂田 昌隆 [4年]



MASATAKA SAKATA

医療技術学部スポーツ医療学科  
足立学園高 / 東京都出身  
180cm・80kg / 右投右打

木下 和哉 [1年]



KAZUYA KINOSHITA

医療技術学部スポーツ医療学科  
横浜隼人高 / 神奈川県出身  
171cm・72kg / 左投左打

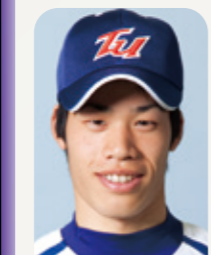
森浦 将志 [3年]



MASASHI MORIURA

医療技術学部スポーツ医療学科  
金光大阪高 / 大阪府出身  
176cm・72kg / 右投左打

塩見 泰隆 [3年]



YASUTAKA SHIOMI

医療技術学部スポーツ医療学科  
武相高 / 神奈川県出身  
179cm・75kg / 右投右打

細川 耕平 [4年]



KOHEI HOSOKAWA

医療技術学部スポーツ医療学科  
弥栄高 / 神奈川県出身  
177cm・75kg / 右投右打

増田 一樹 [1年]



KAZUKI MASUDA

医療技術学部スポーツ医療学科  
相模向陽館高 / 神奈川県出身  
182cm・80kg / 右投右打 / 三塁手

柏野 拓哉 [1年]



TAKUYA KASHINO

医療技術学部スポーツ医療学科  
玉野光南高 / 岡山県出身  
166cm・71kg / 右投右打 / 三塁手

松岡 孝典 [2年]



TAKANORI MATSUOKA

医療技術学部スポーツ医療学科  
京都両洋高 / 大阪府出身  
178cm・76kg / 右投右打 / 二・三塁手・遊撃手

浅井 拓 [2年]



HIROMU ASAI

医療技術学部スポーツ医療学科  
向上高 / 神奈川県出身  
183cm・80kg / 右投左打

緒方 礼央 [3年]



LEO OGATA

医療技術学部スポーツ医療学科  
弥栄高 / 神奈川県出身  
174cm・79kg / 右投右打 / 三塁手

INFIELDER  
内野手



林田 竜郎 [1年]



TATSURO HAYASHIDA

医療技術学部スポーツ医療学科  
大阪商業大学堺高 / 大阪府出身  
180cm・79kg / 右投右打

池尻 翔紀 [2年]



SHOKI IKEJIRI

医療技術学部スポーツ医療学科  
県立和歌山商業高 / 和歌山県出身  
177cm・76kg / 右投右打

長安 諒己 [3年]



RYOKI NAGAYASU

医療技術学部スポーツ医療学科  
倉敷商業高 / 岡山県出身  
175cm・74kg / 右投右打

松浦 航平 [4年]



KOHEI MATSUURA

医療技術学部スポーツ医療学科  
山梨学院大学附属高 / 神奈川県出身  
174cm・72kg / 右投右打

河原 龍義 [1年]



RYUKI KAWAHARA

医療技術学部スポーツ医療学科  
霞ヶ浦高 / 茨城県出身  
166cm・65kg / 右投左打 / 二・三塁手・遊撃手

山口 達也 [2年]



TATSUYA YAMAGUCHI

医療技術学部スポーツ医療学科  
横浜商業高 / 神奈川県出身  
181cm・82kg / 右投右打 / 遊撃手

小山 優樹 [2年]



YUUKI KOYAMA

医療技術学部スポーツ医療学科  
習志野高 / 千葉県出身  
172cm・74kg / 右投右打

加藤 勇斗 [3年]



YUTO KATO

医療技術学部スポーツ医療学科  
近江高 / 滋賀県出身  
183cm・88kg / 右投右打 / 一塁手

小坂井 駿 [4年]



SHUN KOZARAI

医療技術学部スポーツ医療学科  
中越高 / 新潟県出身  
180cm・80kg / 右投右打 / 遊撃手

松本 大輝 [1年]



DAIKI MATSUMOTO

医療技術学部スポーツ医療学科  
PL学園高 / 大阪府出身  
178cm・78kg / 右投左打

久米 将司 [2年]



MASASHI KUME

医療技術学部スポーツ医療学科  
近江高 / 滋賀県出身  
169cm・69kg / 右投右打

西川 尚志 [3年]



NAOSHI NISHIKAWA

医療技術学部スポーツ医療学科  
広島商業高 / 広島県出身  
174cm・69kg / 右投左打

宮内 謙 [4年]



KEN MIYAUCHI

医療技術学部スポーツ医療学科  
埼玉栄高 / 埼玉県出身  
163cm・70kg / 左投左打



佐藤 政斗 [1年]



MASATO SATO

医療技術学部スポーツ医療学科  
桜美林高 / 神奈川県出身  
179cm・76kg / 右投右打 / 二・三塁手

米田 寛人 [2年]



HIROTO YONEDA

医療技術学部スポーツ医療学科  
広陵高 / 広島県出身  
181cm・85kg / 右投右打 / 三塁手

澤田 和馬 [2年]



KAZUMA SAWADA

医療技術学部スポーツ医療学科  
京都翔英高 / 京都府出身  
176cm・70kg / 右投左打 / 二塁手

田口 詩人 [3年]



MAKITO TAGUCHI

医療技術学部スポーツ医療学科  
山梨学院大学附属高 / 神奈川県出身  
184cm・83kg / 右投右打 / 三塁手

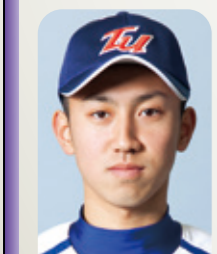
中村 優太 [4年]



YUTA NAKAMURA

医療技術学部スポーツ医療学科  
宇和島東高 / 愛媛県出身  
170cm・73kg / 右投右打 / 二塁手

安並 大輔 [1年]



DAISUKE YASUNAMI

医療技術学部スポーツ医療学科  
山梨学院大学附属高 / 神奈川県出身  
170cm・65kg / 右投左打

磯部 知明 [1年]



TOSHIAKI ISOBE

医療技術学部スポーツ医療学科  
横浜商科大学高 / 神奈川県出身  
180cm・76kg / 右投右打

二宮 和也 [3年]



KAZUMA NINOMIYA

医療技術学部スポーツ医療学科  
横浜創学館高 / 神奈川県出身  
177cm・76kg / 右投右打

奥野 友貴 [3年]



TOMOKI OKUNO

医療技術学部スポーツ医療学科  
PL学園高 / 大阪府出身  
175cm・75kg / 左投左打

稲村 恭司 [4年]



KYOJI INAMURA

医療技術学部スポーツ医療学科  
八代東高 / 熊本県出身  
170cm・72kg / 右投左打

住友 龍志 [1年]



RYUJI SUMITOMO

医療技術学部スポーツ医療学科  
市立船橋高 / 千葉県出身  
178cm・79kg / 右投右打 / 遊撃手

安随 広樹 [1年]



HIROKI ANZUI

医療技術学部スポーツ医療学科  
聖望学園高 / 埼玉県出身  
182cm・78kg / 右投左打 / 一塁手

清藤 達也 [2年]



TATSUYA SEITOH

医療技術学部スポーツ医療学科  
東興義塾高 / 青森県出身  
178cm・78kg / 右投左打

田辺 裕一 [3年]



YUICHI TANABE

医療技術学部スポーツ医療学科  
川崎北高 / 神奈川県出身  
180cm・85kg / 右投左打 / 一塁手

平賀 一起 [4年]



IKKI HIRAGA

医療技術学部スポーツ医療学科  
甲府城西高 / 山梨県出身  
184cm・73kg / 右投左打 / 二塁手・遊撃手

# 噂の硬式野球部合宿所を

# 徹底解剖



**全身鏡**  
全身鏡は3人がバットを振っても邪魔にならないゆつたりした広さでフォームチェックなどができる。

## 練習スペース

40分から1時間の使用で練習後や試合後の疲れがとれる。リーグ戦開催時は先発投手の疲労回復が優先されるがそれ以外は全ての部員が使用できる。怪我の回復にも効果的です。



**トレーナー**  
内田 幸一  
1976年生まれ。青森県出身。幾多の高校でコンディショニングトレーナーを務め2013年から帝京大学スポーツ医学センターに在籍。硬式野球部のトレーナーのかたわら大学の助教も務める。



**ティー打撃場/バッティングマシン**  
全体練習後は自由時間を使っての自主練習が可能。マシン、ティーなど打ち込みに最適。



疲労した筋肉を収縮させて疲れをとります。炎症を抑える効果があります。



最新のマシンが並ぶトレーニングルーム。大学内のスポーツ医学センターからトレーナーが来訪して選手の健康状態をサポートしている。学生の故障回避にも一役買っている。



昨年改装された硬式野球部の新合宿所。



※あくまで一例です。

取材・文=田口 元義  
Text by Genki Taguchi

写真=中島 奈津子  
Photo by Natsuko Nakashima

2012年度卒



「野球だけじゃなく人間的にも認められた」と思うようになりました。生活面も含めて徹底されていた。寮生活でも最初は「散らかっているな」などお叱りを受けることもありましたが、僕自身、寮長だったので「グラウンド以外で唐澤監督に負担をかけさせてはいけない」と、選手たちに「しっかりやるうぜ」と呼びかけて、みんなも率先して寮の掃除など身の回りの整理整頓ができるようになりました。」



PROFILE

かみやま こうしろう 1990年生まれ。大阪府出身。関西創価高一帝京大—NTT東日本。帝京大学では三年秋から頭角を現し、3季続けて防御率1点台をマーク。卒業後はNTT東日本に進み、今秋のプロ野球ドラフト会議でも上位指名が予想される。



野球だけじゃなく人として認められたい。

「帝京大学を選んだ理由を聞かせてください。」  
「帝京大学の練習を見学させていただいたとき、当時、コーチを務められていた唐澤(良)監督がものすごく熱心に指導されていて、僕と同じ関西の出身ということもあり、「こんな熱い方がいるチームでやりたい」と感じたので帝京大学への進学を決めました。」  
「加美山選手にとって唐澤監督は欠かせない存在だったそうですね。」

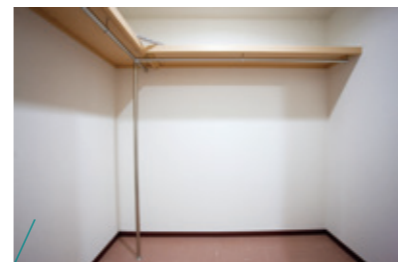
「その通りです。唐澤さんが帝京大学にいらなかったら辞めていたでしょうね。僕、二年の秋に一度、野球部を辞めようと思っただけです。理由は当時のチーム状況とかいろいろあったんですが、そんなときに唐澤監督から電話がありました。『辞めたら加美山の負けだ。ここで歯を食いしばってチームを変えよう』と努力すればお前の勝ちだ』と言われて。そこから、『唐澤さんに恩返しするためにやらないとダメだ!』と野球を続ける決意をしました。」

「自主、自立、自覚」など、唐澤監督の指導は人間育成の面でも評価されています。  
「そこに尽きると思います。唐澤監督は、常に『お前たちがこれから社会に出ていく過程で必要な人材を作っていきたい。報告、連絡、相談、など社会人として必要なことができるようになって、初めて優勝を狙えるチームになる』とおっしゃっていました。そこから自分も、『野

生活スペース



学生が使用する個室は18畳とかなり広め。基本は相部屋仕様だが互いのプライバシーを尊重するように仕切りも備えられている。



人が2、3人すっぽり入れる広さのウォークインクローゼットが各部屋に。



専属の栄養士が学生の食事をサポート。部員の間でも評判だ!



※献立は一例です。



温泉のような広さの大浴場の隣に冷風呂も用意されており、試合の多い夏場は交代浴でケアが可能だ。



洗濯機



ラウンジ



ミーティングルーム



マネージャー室



15年ぶりに勝利の美酒を

私は、「OB会役員会」におきまして、宮台会長の後任に推薦され、平成25年2月2日開催の「OB会総会」におきまして会長に任命されました。私は首都リーグ1部で「初優勝」した昭和46年の入部です。当時の高須国夫監督や前田安佐夫部長（現前田法人事務局長のお父様）を歓喜の内に胴上げし、祝賀パーティーでは、ビールかけをした思い出が、今でも鮮明に残っております。宮台OB会会長相談役と小高副会長、新任の五十嵐・加藤副会長と相談、協力し帝京大学硬式野球部を側面からサポートして行きたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、冒頭申しましたとおり「優勝」とは誠に美味であり努力が報われる最高の結果、喜びであります。過去、長い歴史の中で3度のリーグ優勝があるわけですが、それを経験した選手は実に少なく、そしてここ15年間は、優勝から遠ざかり美酒を味わえない日々が続いております。学生野球は決して優勝が真の目的ではありませんが、44年前に私が経験した感動をもう一度帝京大学硬式野球部に関係する多くの方々と共有できればこの上ない喜びであり、それが実現できる準備は着々と整いつつあると私は実感しております。

合宿所も新装改築され生活環境や自主トレ環境もレベルアップし、また大学側関係各位のフォローも力強く、父兄、OBの応援、ご支援にも手ごたえを感じております。なによりも唐澤監督を中心としたご指導により技術はもとより人間力を磨き、素晴らしい学生・選手が育っていることがそれを裏付けております。ラグビー部に続く大学日本一の座も夢ではありません。

さて、学生、選手の皆さんの中には大学4年間が長く感じる方もいるかもしれませんが、人生80年と考えれば短く、私自身も今振り返れば、その後の人生に影響を与えてくれた「黄金の日々」でありました。今、怪我や病気で選手として活躍できない方もいるかもしれませんが、どうぞ「あせらず・くさらず・あきらめない」で、今できる自分の役割と責任を果たし、各々の目標に向けチャレンジしていただきたいと思っております。

最後になりますが、全国のOB約600名とともに、まもなく創部50周年を迎える伝統ある「帝京大学硬式野球部」の永続的發展を願い、微力ながら応援をさせていただくことをここに御誓いし、ご挨拶とさせていただきます。 T



**PROFILE**  
すずむら よしとし  
1952年生まれ。千葉県出身。  
安房高一帝京大。  
初優勝時は、一年生ながらメンバーに選ばれ勝利に貢献。大学卒業後、小田急商事株式会社に就職。  
OB会創設時は、当時会長だった宮台氏とともに中心となって立ち上げに尽力。2013年2月よりOB会会長に就任。

生涯の友を作る学生生活を

帝京大学が属している首都大学リーグは来季で50周年を迎えます。これまでに、現読売巨人軍監督の原辰徳氏（東海大学卒）をはじめ、数多くのプロ野球選手を輩出し、我が帝京大学からも千葉ロッテマリーンズの里崎智也が正捕手としてチームの屋台骨を支えるなど、半世紀に渡り野球界の発展に貢献してきました。

そんな中で迎える今季2014年シーズンはこれまでの49年の歴史の総決算となるべき節目の年になります。そこで私が、学生に伝えたいのは今季の結果、成績よりも「近い将来、自分が社会に出て何が一番したいのか?」「そのために今、何をすべきなのか?」を考える一年にしてもらいたいということです。

大学野球で過ごす4年間は、学生にとって、「生涯の友」と出会う4年間でもあると私は考えます。私自身もそうでしたが、大学時代を共に過ごした仲間たちは社会に出て、ときに支えたり、支えられたりしながら互いの成長に欠かせない存在になっていきました。学生の皆さんにも私のようにそうした仲間を多く作っていただきたいのです。

一生涯で考えますとクラブを持っている期間よりもクラブを置いてからの期間の方がずっと長いのです。この言葉の意味を自分の中で考え、悔いのない1年間を過ごしてもらいたい。そのことが首都大学リーグの次の50年に必ず繋がるはずですよ。 T



**PROFILE**  
みやだい としろう  
1949年生まれ。神奈川県出身。  
法政二高一帝京大。  
帝京大学硬式野球部の二期生でクラブ創生期を支えた。卒業後は企業の代表をする傍ら帝京大学硬式野球部の監督を務め、里崎智也、愛敬尚史ら多くの選手をプロ野球へ輩出した。

2000年度卒

大学野球は社会に出る準備期間でした。

「2012年に野球に一区切りをつけ、現在はJR東日本の一社員として生活を送っていますが。」  
「12年間も社会人で野球をさせてもらったので本当に感謝しています。悔いがないと言ったら嘘になります。今は気持ちを切り替えて仕事に専念できていますし、社員の皆様には本当に感謝しています。」  
「切り替えるきっかけはあったのですか?」  
「時間ですね。あとは仕事の内容がやっとなり過ぎて仕事の面白さが発見できませんでした。」  
「現役時代は朝、出勤して昼から野球の毎日だったと思います。」  
「野球をやっていたころは会社に9時から10時半までいて主に雑用をしていました。社会人といっても本当に野球がメインなので、昼から夜までグラウンドの生活。それが今は一般の社員と同じ仕事をしているのですから会社は同じでも仕事はまったく別物ですよ。」  
「駅員の仕事に戸惑いはなかったですか?」  
「今は駅長代理という形で仕事をさせてもらっていますが、仕事のことを何も知らない人間がいきなり多くの部下をもたされたわけですから、最初は戸惑いました。それでもやっていくには周りの駅員の方が多いと教えてくださったので、助けてくれたからだと思います。」  
「帝京大学では昨年までコーチをされていた秋山満さん（現帝京大学職員）」



**PROFILE**  
さいとう たかし  
1978年生まれ。埼玉県出身。  
大宮東高一帝京大一JR東日本。  
帝京大学では四年時にエースとして活躍。首都大学リーグのベストナインにも選出された。

「最後に学生へメッセージを。」  
「第一に野球を楽しんでもらいたいです。大学の4年間はいろんな誘惑がありますが、今、自分が野球をやっている、その瞬間を大切に、野球にすべてをかけてもらいたいです。野球で完全燃焼してもらいたいです。」  
「社会に出ていくための準備期間でしたね。相模湖で4年間を過ごして本当にいろんなことを学びましたし、合宿所の生活や部の厳しい練習にも耐えて、忍耐力が身に付きました。あと礼儀はしっかり教わりましたね。」  
「最後に学生へメッセージを。」  
「第一に野球を楽しんでもらいたいです。大学の4年間はいろんな誘惑がありますが、今、自分が野球をやっている、その瞬間を大切に、野球にすべてをかけてもらいたいです。野球で完全燃焼してもらいたいです。」



帝京大学硬式野球部 卒業後の主な進路

プロ野球へ進んだ OB

益山 性旭 (1976年卒→阪神・投手)  
佐藤 康幸 (1994年卒→中日→広島→中日・スタッフ)  
愛敬 尚史 (1998年卒→近鉄→東北楽天・投手)  
里崎 智也 (1998年卒→千葉ロッテ・捕手)  
窪田 淳 (1999年卒→阪神→オリックス・投手)  
山本 賢寿 (2003年卒→巨人・投手)

独立リーグ

北信越BCリーグ  
(石川ミリオンスターズ、富山サンダーバース)

社会人野球へ進んだ OB の就職先

朝日生命、鷺宮製作所、新日本製鐵住金かずまジック、新日本製鐵名古屋「東海REX」、住友金属鹿島、西部ガス、西濃運輸、東京ガス、東芝、日本IBM野洲、日本新薬、JX-ENEOS、日本通運、ニチダイ、日立製作所、七十七銀行、富士重工、パナソニック、ミキハウス、明治安田生命、三菱重工名古屋、ヤマハ、JR東日本、JR東日本東北、NTT西日本・相模クラブ、NTT東日本、茨城ゴールデンゴールズ、熊本ゴールデンラークス、バイタルネット、ヒタチエクスプレス、シティライト岡山、王子製紙、ジェイプロジェクト、エナジェックほか

軟式野球へ進んだ OB の就職先

佐藤薬品工業、京葉銀行、常陽銀行、東芝情報機器、旭鋼管工業、ベスト、キャプティ、日立厚木、青梅信用金庫、千葉銀行、城北信用金庫、リコーロジスティクス、静岡ガス、佐川コンピューターシステム、三洋電機、サンリツ、東京ガスファーストエナジー、宮後工業、ニテック、日本医療企画、カワダほか

仲間と共に、スポーツの力で多くの人に感動を…  
 私たちは帝京大学です。

「自分流」で学べる10学部

- 【医学部】医学科 【薬学部】薬学科
- 【経済学部】経済学科/地域経済学科/経営学科/観光経営学科
- 【法学部】法律学科 【文学部】日本文化学科/史学科/社会学科/心理学科
- 【外国語学部】外国語学科 【教育学部】教育文化学科/初等教育学科
- 【理工学部】機械・精密システム工学科/航空宇宙工学科/ヒューマン情報システム学科/  
 バイオサイエンス学科/情報科学科(通信教育課程)
- 【医療技術学部】視能矯正学科/看護学科/診療放射線学科/  
 臨床検査学科/スポーツ医療学科/柔道整復学科
- 【福岡医療技術学部】理学療法学科/作業療法学科/看護学科/診療放射線学科

全国に広がる5つのキャンパス

- 八王子キャンパス/板橋キャンパス/宇都宮キャンパス/  
 福岡キャンパス/霞ヶ関キャンパス



帝京大学 硬式野球部公式ホームページ

最新NEWSをはじめ、試合情報、部員紹介や動画まで、硬式野球部に関する情報をお伝えしていきます。

[http:// baseball.teikyouuniv.jp/](http://baseball.teikyouuniv.jp/)



2月下旬、取材で相模湖にあるグラウンドにうかがいました。今年は記録的な大雪が降り、帝京大のグラウンドにも膝くらいまでの雪が。「練習にも影響があるだろうなあ…」と心配していましたが、選手たちはグラウンド脇にある坂道でダッシュを繰り返したり、室内練習場で投球・打撃練習をしっかりとこなしていました。今できることを自分たちで考えて、成長できる集団。これが帝京大学硬式野球部の強さだと感じました。(片山)

From EDITOR

出張 **+T**



+T編集部公式Twitterアカウント  
 @kanpan\_plus

+Tとは…

「帝京大学をもっと好きになる。」をコンセプトに学生4人から始まったフリーペーパー。「T」は帝京大学を表し、このキャンパスでの出会いや、つながり全てが、帝京大の+（プラス）になることを意味しています。